九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

中国におけるサービス経済化の進展と課題に関する研究 ： 計量分析による国際比較と製造業企業との生産性比較

余，洋

https://hdl.handle.net/2324/6787396

出版情報：Kyushu University, 2022, 博士（経済学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

（様式６－２）

氏　　名	余　洋
論　文　名	中国におけるサービス経済化の進展と課題に関する研究 ―計量分析による国際比較と製造業企業との生産性比較―
論文調査委員	主　査　　九州大学　　准教授　　堀井　伸浩 副　査　　九州大学　　准教授　　北澤　　満 副　査　　九州大学　　教　授　　加河　茂美

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、中国のサービス経済化の進展とそれに伴って生じた課題について、歴史的見地、他国との比較、企業レベルの分析を組み合わせて総合的に評価しようとするものである。先行研究は労働供給と強く関係する女性の社会進出や高齢化とサービス経済化の関係性について明確な結論を得ていない。また多くの先行研究は国家レベルや地域別のデータを利用して製造業とサービス業の労働生産性を比較するものであり、企業データを用いて製造業とサービス業との比較、あるいはサービス業の個別産業間の労働生産性の差を比較する研究は少ない。本研究は計量分析により中国の高齢化と女性の社会進出がもたらすサービス経済化への影響を国際比較分析するとともに、中国の企業データを用いて製造業とサービス業の生産性について分析した。

世界主要国 46か国のパネルデータを用いて行った計量分析の結果、都市部での人口増加がサービスに対する需要と労働供給の増加につながりサービス経済化を促進すること、高齢化は医療・看護などのサービスに対する需要の増加を通じてサービス業に対して促進効果を持つ一方、労働人口の減少から労働者不足が発生、製造業への雇用回帰が生じることを明らかにした。また合計特殊出生率が高い、つまり女性の社会進出が遅れた国では、GDP に占めるサービス業の割合が低い一方、雇用に占める割合は高い現象が見られる。女性の社会進出は女性の収入増加と家庭内労働の代替需要としてサービス需要を増加させるが、女性の社会進出が遅れている地域ではこの需要増加効果が限定的であること、またそうした地域では女性はパートタイムやアルバイトのような短時間労働にしか就業できず、そうした雇用形態が多いサービス業の雇用に占める割合が高くなることが影響していると結論付けた。

またサービス業に属する個別産業の労働生産性について企業レベルから分析した結果、サービス業に属する個別産業間における平均労働生産性の差は非常に大きく、中国では郵便通信業・小売業などの労働集約的産業に労働供給が集中していることがサービス業全体の労働生産性上昇を抑制する原因と指摘している。

本論文全体として、計量分析を中心に据えつつ、歴史的経緯の検討や国際比較、中国政府の政策分析など総合的なアプローチで近年急速に進む中国のサービス経済化について検討を加え、女性の社会進出と高齢化の影響、個別産業の労働生産性がサービス業全体の労働生産性に及ぼす影響を明らかにした点で高く評価できる。以上より本論文調査委員会は、余洋氏から提出された論文「中国におけるサービス経済化の進展と課題に関する研究―計量分析による国際比較と製造業企業との生産性比較―」が博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める。